

神栖市地域公共交通計画（第2期）（素案）に関するパブリックコメント
 主な意見と市の考え方

1 意見募集期間 令和8年2月2日（月曜日）～3月3日（火曜日）

2 意見提出者数及び意見等件数

提出者数 3名

意見等件数 8件

3 意見の内容と市の考え方

No.	意見の内容	市の考え方
1	<p>本編P. 7 課題1 人口減少・高齢化を見据えた公共交通ネットワークの構築</p> <p>鹿島臨海鉄道臨海線の知手以南の公共交通として人口集中区域の知手・若松・土合・波崎、そして銚子まで一直線に結ぶ基幹路線となるBRT路線を走らせ、利用者を集約させるとともに、デマンド交通のエリア内移動との連携を図りながら、県庁所在地方面への都市間移動を整備する。</p>	<p>本市の公共交通に関しては、運賃等による収入と支出のバランスを考慮し、需要に応じた交通手段を検討していく必要があるものと考えております。</p> <p>BRTは、通常バスと比べ、インフラ整備面に多額の費用がかかることや、現状の交通需要ではその費用を回収する見込みがないこと等から難しいものと考えております。</p> <p>引き続き、公共交通の需要把握に努めながら、需要に応じた交通再編を進めてまいります。</p>
2	<p>本編P. 14 地域公共交通の役割分担イメージ</p> <p>神栖市と県庁所在地（水戸市）方面の移動を考えると、今ある鹿島臨海鉄道臨海線に旅客鉄道を走らせる（復活させる）ことで、神栖市と水戸市方面の交通の便が飛躍的に向上すると考えます。</p>	<p>鉄道の旅客営業再開につきましては、交通事業者の判断による場所が大きく、またその採算性の確保には路線バスよりさらに多くの利用者が見込まれる必要があるものと考えております。</p>
3	<p>深刻化する運転手不足と、将来の団塊ジュニア世代の免許返納を見据え、市が主体となって「レベル4（特定条件下での完全自動運転）車両」を導入することを提案します。予約制（オンデマンド）で市民を送迎する「公設民営型」の次世代交通システムの構築を計画に盛り込んでください。本計画の中に自動運転導入に向けた具体的なロードマップを明記すること</p>	<p>本編P. 24において、自動運転バスを含む新しい交通形態の導入に関する研究・検討を進めていくこととしております。</p> <p>本市においては、交通事業者と連携して運転手不足に対する対策もあわせて進めていくとともに、将来的な自動運転バス等の導入について調査・研究を進めてまいりますのでご理解ください。</p>

	<p>を強く要望します。</p>	<p>いますようお願いいたします。</p>
4	<p>資料編P. 12 主な医療施設にしょうのこどもクリニック、宝山ハートクリニックが記入されていません。</p>	<p>国土数値情報ダウンロードサイトより情報を引用したため、一部施設が掲載されておりませんでした。 ご意見のとおり掲載いたします。</p>
5	<p>資料編P. 19 現在、利根川線は往2便ではありませんか？便が少なくなり、利用者がさらに少なくなることが起きていないのでしょうか。ある程度の本数確保が必要だと思います。</p>	<p>資料編P. 19に記載のとおり利根川線の鹿島神宮駅から銚子駅間は往2便となります。 矢田部公民館から銚子駅間が往10便、関鉄波崎営業所から銚子駅間が往3便となります。 ご意見のとおり便数が少なくなることは利便性の低下につながり、さらに利用者が少なくなるおそれもありますが、利用者が少ない路線に関しては、運行維持が困難であるため、より需要のある区間の本数を確保していく必要があるものと考えております。</p>
6	<p>資料編P. 23 1-2-3 コミュニティバス 鹿島神宮駅始発でなく延伸して、小山記念病院始発にすればもっと利用しやすくなるのではないですか。一般市民には分かりづらいバス停名となっています。「鹿嶋ハートクリニック前」等の名前にした方が市民にどこの場所か分かりやすくなります。 鹿嶋ハートクリニックは病床が増え病院の機能を持っています。小山記念病院・鹿嶋ハートクリニック・白十字総合病院をつなげば利便性が良くなります。</p>	<p>本編P. 18において、施策としてコミュニティバスの路線再編案を検討していくこととしております。いただいたご意見もふまえ、より利便性の高い公共交通網の形成に取り組んでまいります。</p>

7	<p>資料編 P. 30</p> <p>神栖済生会病院～下総橋駅間の路線の利用者は、朝、下総橋駅までは1日18人利用しているようですが、帰りには2便あわせて10人となっています。どうしてこのような違いがあるのか詳しく知りたいと思いました。2便は帰りの学生さんは乗らないのでしょうか？</p>	<p>神栖済生会病院～下総橋駅間の朝便と同様、夕方の2便に関しても学生の利用が多いですが、放課後の活動等により、帰宅時間に差異があるため、コミュニティバスの運行時間が合わず、その他の交通手段で帰宅される学生もいるものと考えております。</p>
8	<p>資料編 P.37 2-2 関連計画 2-2-1 神栖市自転車活用推進計画</p> <p>市民に自転車の利用を推進する前に、神栖市の職員が自転車通勤をして手本を見せてください。</p> <p>神栖市の駐輪場はいつもいっぱい置けるところがありません。</p> <p>高速バスの利用で、アートホテル鹿島セントラルの駐輪場は常陽銀行周りにありますが、いつも乱雑におかれて一杯になっています。</p> <p>駐輪場の整備が必要と思います。</p>	<p>資料編 P.37 につきましては、公共交通と関連のある計画として、一部内容を掲載しているものです。他計画の内容及び具体的な施策提案を含みますので、今回の神栖市地域公共交通計画（第2期）（素案）に関する意見としては回答を差し控えさせていただきますが、いただいたご提案については共有させていただきます、施策を検討する中での貴重な意見として、活用させていただきます。</p>